

2024/06/16

説教題：義認：成熟と神の家族

OIC の皆さん、お早うございます。

義認とは、イエスが私たちの永遠の赦しを買うために十字架上で死なれたことに基づいて、私たちはもはや罪がなく、義とされるという神の宣言です。今日、私たちは、パウロが、信仰によって義とされたクリスチャンが、神のご計画に確信をもって人生を終えるための神の力を与えられ、また、神の家族に対する相互の愛と相互の依存を与えられていることを、さらに詳しく説明します。

先週（6月9日）の私のメッセージ（ローマ 15. 15-39）から、義認と題した前回のコメントの復習を始めましょう： 成熟と忍耐 パウロの忍耐の人生そのものが、義認のメインテーマであり、焦点です： 成熟と忍耐 ローマ人への手紙 15 章と、使徒の働き 21 章から 28 章のパウロの生涯の歴史的出来事から、パウロの忍耐を引き出そうとしたのはそのためです。パウロは、神に見放されそうになったとき、敵のために忍耐しました。ローマの囚人となっても、あらゆる場所で証しをし、宣教しました。パウロは、自分に残された機会であれば、どんなものであれ、みことばと行いでキリストを伝えました。パウロは自分の召命のために働き続け、神はローマに連行された鎖につながれた囚人として、神の方法と時に彼の心に望みを与えました。私たちが耐え忍び、パウロが（使徒 14. 22）「信仰にしっかりとどまる」ように勧めたように、神は私たちの心に、もし私たちが耐え忍び「信仰にしっかりとどまる」ように勧められるなら、それは、神があなたになそうとされる望みであると思います。

（ローマ 15 : 29 - 30）：「29 あなたがたのところに行くときは、キリストの満ちあふれる祝福をもって行くことと信じています。30 兄弟たち。私たちの主イエス・キリストによって、また、御霊の愛によって切にお願いします。私のために、私とともに力を尽くして神に祈ってください。」

このキリストの使徒は、1 世紀の文明世界の大部分をカバーする壮大で偉大なミニストリーをもって、自らを謙遜にし、共同祈願の力を知っていたので、激しく祈りを求めました。神の家族への相互依存を謙虚に認めました。というのは、イエスが（マタイ 18. 19-20）で言われたように：「19 まことに、あなたがたにもう一度、告げます。もし、あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心をつにして祈るなら、天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます。20 ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。」

そして、祈りのリクエストに 2 人以上の同意を求めることで、天におられる「我らの父」が YES と祈りに答えてくださるといふ確信が生まれます。

(ローマ 15. 31-32) : 「 31 私がユダヤにいる不信仰な人々から救い出され、またエルサレムに対する私の奉仕が聖徒たちに受け入れられるものとなりますように。 32 その結果として、神のみこころにより、喜びをもってあなたがたのところへ行き、あなたがたの中で、ともにいこいを得ることができますように。」

パウロは手紙を受け取ったクリスチャンたちに、パウロと同じように祈るように、つまり、ユダヤにいる不従順な者たち、つまりユダヤの反キリストの暴力的なユダヤ教一派から救い出されることについて、私のために神に祈り、私とともに努力するようにと求めています。一読すると、父はパウロに NO と言ったように思えます！ 神の YES は、パウロが手つかずのままユダヤを通過することだと思い込んでいたからです。では、ブルース牧師は、イエスは天の父が YES と言われると約束されたのに、パウロはユダヤで不従順な者たちから守られなかったと言うのですか？ 先週、使徒の働きから示したように、パウロがエルサレムでユダヤ人に殴られ、手荒く扱われたのは事実です。しかし、父なる神は YES と言われました！ 神が暴力的なユダヤ人から、パウロを救い出されたからです。その方法は、天使たちでも、怒れるユダヤ人の暴力的な群衆を静めることでもなく、エルサレムに駐留するローマ軍の兵士たちでした。(使徒 21. 31-34) に宣べられています：「31 彼ら（怒るユダヤ人たち）がパウロを殺そうとしていたとき、エルサレム中が混乱状態に陥っているという報告が、ローマ軍の千人隊長に届いた。32 彼はただちに、兵士たちと百人隊長たちとを率いて、彼らのところに駆けつけた。人々は千人隊長と兵士たちを見て、パウロを打つのをやめた。33 千人隊長は近づいてパウロを捕え、二つの鎖につながるように命じたうえ、パウロが何者なのか、何をしたのか、と尋ねた。34 しかし、群衆がめいめい勝手なことを叫び続けたので、その騒がしさのために確かなことがわからなかった。そこで千人隊長は、パウロを兵營に連れて行くように命令した。」

だから、神はパウロを救われたのです！（使徒 9. 15）で見たように、パウロに関するアナニヤへの約束を含む神の主権的な計画があります：「15 しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。」そのため、囚人として、特にカイサリヤでのパウロの裁判中にアグリッパ王に対して証しをすることになったのです。」

32 その結果として、神のみこころにより、喜びをもってあなたがたのところへ行き、あなたがたの中で、ともにいこいを得ることができますように。

私たちが何を言うかは、時に私たちが何をやるかと同じくらい重要です！ イエスは（マタイ 12. 36-37）でこう言われました：「36 わたしはあなたがたに、こう言ひましょう。人はその口にするあらゆるむだなことばについて、さばきの日には言い開きをしなければなりません。」

37 あなたが正しいとされるのは、あなたのことばによるのであり、罪に定められるのも、あなたのことばによるのです。」

パウロは決して「自分の」使命を「自分のやり方」で果たそうとはしませんでした。私は先週、キリストの福音を異文化に伝えるために創造性を必要とするパウロのような開拓牧師や宣教師に神が与える自由について話しました。しかし、パウロが（ローマ 15・32）で語ったように、主な願いは次のようなものでなければなりません：神のみこ

ころにより、喜びをもって イエスの声を聞くこと、父の励まし、聖霊の力づけは、いわゆる**成功することよりも重要です。(ローマ 15.33) : どうか平和の神が、あなたがたとともにいてくださいますように。アーメン。** 使徒パウロは、16章からなる長い手紙の中で、自分が養ってきたイエスのローマの羊たちのためにアーメンを祈りに込めました。

ローマ書についての毎週のメッセージを終えるにあたり、*the King James Study Bible* 欽定訳聖書 (KJSB/注) を引用したいです。“ローマ書は「キリスト教の憲法」、「キリスト教宣言」、「キリスト教信仰の大聖堂」と呼ばれている。キリスト教の教義の最も完全な大要であることは注目に値する。” これは、紀元57年にローマの諸教会に宛てた、パウロによるこの聖霊の靈感を受けた手紙の重要性を示す良い宣言です。しかし、主イエスは、この正しいコメントに、ローマ書はクリスチャンにとっての神の知識、すなわち神学を最も正確に記述したものである、と付け加えることを私に望んでおられます。しかし、**それ以上のものです!** それは、聖書の中で最も多くの知識であると同時に、神の感情的なコミュニケーション、クリスチャンへのラブレターに満ちているからです。私たちは、知識だけでは高慢に「膨れ上がる」ことを知っています。(1コリント 8.1) に書かれているように:「1…私たちはみな知識を持っているということなら、わかっています。しかし、知識は人を高ぶらせ、愛は人の徳を建てます。」パウロは、クリスチャンに力を与え、照らし、実際にクリスチャンが悪魔と自分自身の肉体に圧倒的に打ち勝つためには、聖霊が必要であることを強調しています。パウロは、神に関する最も正確な知識、すなわち神学を駆使して、知識を善のために働かせたり、影響を与えたりする力、すなわち愛の力は、三位一体の第三位格である聖霊であると何度も述べています。このラブレターでは、天の作者に助けられた人間の作者が、「すべての「t」を消し、すべての「i」に点をつけた」。これは、私の良き日本人の友人の何人かが急いで書くときにするかもしれないように、漢字の中に小さな一書の線が省略されていないと言うようなものかもしれない。

(上記の t と i の意味: アメリカには “to cross every t and to dot every i” ということわざがある。これは、文字の書き方を絶対に正確にしなければならないという意味である。日本人が漢字を書くときにも似たようなもので、正しく書かないと「右」が「石」に見えてしまう。ローマ人への手紙の人間の著者は、天の著者によって助けられ、聖霊がパウロに書かせたかった正しい言葉(そして正しい文字)を一字一句正確に書くことができたということである。もちろん、パウロは英語ではなくギリシャ語で書いていた。しかし、ブルースの例は、アメリカ人やイギリス人の学生が英字の書き方を学ぶときのものだ。そして、日本人は漢字の画数を正確に書くようにしなければならない。ブルース牧師のメッセージの前の文章は、“神についての最も正確な知識、すなわち神学”について述べている。聖霊がパウロを助け、神がパウロに使わせたかった言葉を正確に書くことで、私たちは最高に正確な神学を得ることができる。比喻として、ブルースは、聖霊がパウロに「すべての t を消し、すべての i に点」をつけさせ、このローマ書において最も正確な神学的意味が伝わるようにしたと言っているのだ。)

ローマ書の中でパウロは**義認**を宣言している: **キリストの十字架とクリスチャン生活: 御言葉と聖霊である。**

先ほどの *the King James Study Bible* 欽定訳聖書 (KJSB/注) (ローマ 15.33): 「アーメンで、この手紙の正式な部分は終わりを告げた。残るのは、個人的な挨拶と警告の言葉だけである。」繰り返しますが、これは良い注釈です。しかし、パウロは、福音のために、そして、キリストにあって生かされるために、すでに自分を死んだものとみなしていた人でした。彼は、イエスと、日常生活のために与えられた聖霊の力に、愛の奴隷として売

り渡されたのです。彼は、自分が何者であるかということと、自分が信じていること、自分の教義や神学を切り離すことができませんでした。私たちは、彼が愛したイエスの羊とイエスのための弟子たち、そして弟子たちに対する彼の心からの無計画なコメントの両方に対する次の節で、このことをはっきりと見ることができます。パウロの人生は教義以上のものでした。

(NASB1995)の手紙のこの部分の上の見出し、挨拶と愛の表現は適切です。(ローマ 16. 1-2)にはこうあります：「**1** ケンクレヤにある教会の執事で、私たちの姉妹であるフィベを、あなたがたに推薦します。**2** どうぞ、聖徒にふさわしいしかたで、主にあつてこの人を歓迎し、あなたがたの助けを必要とすることは、どんなことでも助けてあげてください。この人は、多くの人を助け、また私自身をも助けてくれた人です。」

パウロは、フィベを含む、ローマに派遣していた何人かの仲間の牧師、協力宣教師、伝道宣教師を承認しています。これらの聖句に釈義や分析は必要はありません。(ローマ 16. 3-16)の手紙を読んでみましょう：「**3** キリスト・イエスにあつて私の同労者であるプリスカとアクラによろしく伝えてください。**4** この人たちは、自分のいのちの危険を冒して私のいのちを守ってくれたのです。この人たちには、私だけでなく、異邦人のすべての教会も感謝しています。**5** またその家の教会によろしく伝えてください。私の愛するエパネトによろしく。この人はアジアでキリストを信じた最初の人です。**6** あなたがたのために非常に労苦したマリヤによろしく。**7** 私の同国人で私といっしょに投獄されたことのある、アンドロニコとユニアスにもよろしく。この人々は使徒たちの間によく知られている人々で、また私より先にキリストにある者となったのです。**8** 主にあつて私の愛するアムプリアトによろしく。**9** キリストにあつて私たちの同労者であるウルバノと、私の愛するスタキスとによろしく。**10** キリストにあつて練達したアペレによろしく。アリストブロの家の人たちによろしく。**11** 私の同国人ヘロデオンによろしく。ナルキソの家の主にある人たちによろしく。**12** 主にあつて労している、ツルパナとツルポサによろしく。主にあつて非常に労苦した愛するペルシスによろしく。**13** 主にあつて選ばれた人ルポスによろしく。また彼と私との母によろしく。**14** アスンクリト、フレゴン、ヘルメス、パトロバ、ヘルマスおよびその人たちといっしょにいる兄弟たちによろしく。**15** フィロロゴとユリヤ、ネレオとその姉妹、オルンパおよびその人たちといっしょにいるすべての聖徒たちによろしく。**16** あなたがたは聖なる口づけをもって互いのあいさつをかわしなさい。キリストの教会はみな、あなたがたによろしくと言っています。」

イギリスの聖書学者による 20 世紀の現代語訳 (ローマ 16. 16/JBP)にはこうあります：「私ために、心から握手を交わしてください。私が連絡を取り合っているすべての教会からの挨拶が、この手紙とともにあなたに届く。」

・聖書や世界の文化を研究することに人生の大半を費やしてきた私たちは、友人や家族にふさわしい肉体的な愛情が失われていくことに一抹の寂しさを感じます。古今東西のユダヤ文化では、成人した子供たちは、死別するまで両親にキスをし続けました。中近東の多くの文化では、このイスラエ尔的／東洋的な愛情の習慣が実際に生き続けています。悲しいことに、キリスト教の影響を最も受けた西側世界の地域では、この習慣が失われて

しまいました。さて、親愛なる OIC の聖徒の皆さん、私は皆さんにあまり大きな変化を求めてはいません。しかし、多くの OIC の聖徒たちが純粹で聖なるハグと握手をしてくれることに感謝しています。

今、パウロは自分が何者であるか、自分の召命を隠すことができないことを、旧友たちに愛を表現しながら示しています。(ローマ 16. 17-20) : 「17 兄弟たち。私はあなたがたに願います。あなたがたの学んだ教えにそむいて、分裂とつまずきを引き起こす人たちを警戒してください。彼らから遠ざかりなさい。18 そういう人たちは、私たちの主キリストに仕えないで、自分の欲に仕えているのです。彼らは、なめらかなことば、へつらいのことばをもって純朴な人たちの心をだましているのです。19 あなたがたの従順はすべての人に知られているので、私はあなたがたのことを喜んでいますが、私は、あなたがたが善にはさとく、悪にはうとくあってほしい、と望んでいます。20 平和の神は、すみやかに、あなたがたの足でサタンを踏み砕いてくださいます。どうか、私たちの主イエスの恵みが、あなたがたとともにありますように。」

17 節：「…あなたがたの学んだ教えにそむいて、分裂とつまずきを引き起こす人たちを警戒してください。」を詳しく検証する必要があります。私が思うに、この教えに耳を傾け、過剰に反応しないようにするためのヒントが 2 つあります。

1 点目は、(ローマ 16. 17-18/JBP) からの言い換えを選びました：「17 兄弟たち。私はあなたがたに願います。あなたがたの学んだ教えにそむいて、分裂とつまずきを引き起こす人たちを警戒してください。彼らから遠ざかりなさい。18 そういう人たちは、私たちの主キリストに仕えないで、自分の欲に仕えているのです。彼らは、なめらかなことば、へつらいのことばをもって純朴な人たちの心をだましているのです。」

不和と対立は、イエスの教会における聖霊の働きを妨げ、しばしば破壊します。クリスチャンの肉は常に自分の中の聖霊と戦っており、特に私たちが未熟であれば、他の人の中のイエスの御霊と戦うことがあまりにも多いのです。(ガラテヤ 5. 17) に書かれているように：「17 なぜなら、肉の願うことは御霊に逆らい、御霊は肉に逆らうからです。この二つは互いに対立していて、そのためあなたがたは、自分のしたいと思うことをすることができないのです。」聖書、ひいては主イエスが本当に私たちに教えておられることについての意見の相違が、その原因かもしれません。多くのクリスチャンは、パウロが弟子のテモテに(2 テモテ 3. 16) で教えたように、自分の全生涯を聖書の権威の下に置いたことがありません。「16 聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。」ある聖句が他の聖句と競合するのは危険です。しかし、キリストからの聖霊の知恵は、あなたが学んだ教えに反して、一貫して不和や妨げを引き起こすクリスチャンの場合に必要なのです。そこで、もう一つの聖句を紹介します。

警告を弱めかねないが、その必要はない 2 点目は、『義認：成熟と自己否定』と題した説教で、良心の原則について(ローマ 14. 1) から説教した通りです：「1 あなたがたは信仰の弱い人を受け入れなさい。その意見をさばいてはいけません。」(エペソ 4. 2/KJ21) からも引用しました。私はメッセージのある段落をこう締めくくりました：「もちろん

ん、未熟なクリスチャンが、あるいは成熟したクリスチャンが、他のクリスチャンに対して、あるいは教会に対して、乱暴に罪を犯すような行動をとるかどうかわかることは、寛容な世の中においては不可欠です。この場合、私たちは「受け身」になって{このような行動を}「許可」してはなりません。また、愛をもって互いに寛容でなければなりません。神の言葉、イエスを愛するということは、そのようなクリスチャンを悔い改めに導くために、「能動態」の動詞のように、立ち向かったり、叱責したりする「愛の行動」が必要なのです。しかし、ほとんどの弱いクリスチャンは、信仰の強さを持たない人たちです。イエスのために聖なる生活を送りたいという良心や願望がないわけではないのです。

ブルース牧師、分裂を引き起こしている人を遠ざけるべきかどうか、どうすればわかるのでしょうか？ あなたが学んだ教えに反して、不和や妨げを引き起こす教会に行く人に対するパウロの警告を取り消すことなく、その質問に答えようと思います。しかし、信仰の弱いクリスチャンが忍耐強い指導を必要とすることも考慮しなければなりません。パウロの警告の次の節は、この釈義と応用神学を助けるものです：「18 そういう人たちは、私たちの主キリストに仕えないで、自分の欲に仕えているのです。彼らは、なめらかなことば、へつらいのことばをもって純朴な人たちの心をだましています。」最も危険な分裂主義者は、利己主義を示し、また蛇そのもののような魅力を持っています。これは、
(2 コリント 11. 13-15) から：「13 こういう者たちは、にせ使徒であり、人を欺く働き人であって、キリストの使徒に変装しているのです。14 しかし、驚くには及びません。サタンさえ光の御使いに変装するのです。15 ですから、サタンの手下どもが義のしもべに変装したとしても、格別なことはありません。彼らの最後はそのしわざにふさわしいものとなります。」

アメリカで開拓伝道師として、また副牧師として、そしてその後日本で宣教師として、私は長年にわたる教会活動の中で、精神的に不健康なクリスチャンと接してきました。私は経験から、また牧師としての恩師たちから、精神的な問題がイエスの誠実な信者の心を隠してしまうことを学びまし。光の天使のような「クリスチャン」は、周囲の人々を傷つけても後悔の念を示めしません。彼の心は自己と憎しみと恨みに満ちています。精神的な健康（多くの場合、感情的な健康のみ）が分裂の原因となっているクリスチャンは、しばしば自分の行動を後悔します。私はあなた方の牧師として、精神医学的な問題を含む長年のカウンセリング経験があることを励ましたいです。私はまた、愛する OIC の聖徒たちが、専門家にそのような医学的助けを求めることに対して、あまり高慢にならないように励ますつもりです。人間の脳は、霊的なものだけでなく、肉体的にも神によって創造されたものですから。私はしばしば、自分の弱さを知っている自分に気づかせます。(1 コリント 4. 7/JBP)：「7 いったいだれが、あなたをすぐれた者と認めるのですか。あなたには、何か、もらったものでないものがあるのですか。もしもらったのなら、なぜ、もらっていないかのように誇るのですか。」

繰り返しになりますが、聖霊の油注ぎは、最も困難な状況においてさえ、神の成就を引き起こすのです(1 コリント 1. 30)：「30 しかしあなたがたは、神によってキリスト・イエ

スのうちにあるのです。キリストは、私たちにとって、神の知恵となり、また、義と聖めと、贖いとになりました。」

(ローマ 16.19 - 20) : 「19 あなたがたの従順はすべての人に知られているので、私はあなたがたのことを喜んでいますが、しかし、私は、あなたがたが善にはさとく、悪にはうとくあってほしい、と望んでいます。**20** 平和の神は、すみやかに、あなたがたの足でサタンを踏み砕いてくださいます。どうか、私たちの主イエスの恵みが、あなたがたとともにありますように。」

パウロはまたしても、ローマの信者たちに対する信頼を示します。実際、彼らは遠く離れた教会でも評判が良かったのです。しかし、パウロは彼らに、神のいつくしみと御言葉に基づく知恵を優しく諭しています。そして、パウロはパウロとして、パウロに嫌がらせをし、妨げをした敵に対する憎しみを示します。パウロは、クリスチャンが、傷つけられた蛇が砕かれた蛇となる日が来ることを知る必要があることを知っていました。信仰によって生きることは、イエスが人々と悪魔を裁くために戻って来られる日を、時計や時計の動きよりも近く感じさせます。永遠の栄光は、心臓の鼓動のすぐそばにあります。**20** 平和の神は、すみやかに、あなたがたの足でサタンを踏み砕いてくださいます。パウロは、イエスがご自身の教会を建てられるとき、教会の敵が多く敗北を味わうことを知っていました。親愛なる OIC の聖徒たちの皆さん、私たちの足下でサタンを一時的に打ち砕く勝利が現在もあるでしょう。しかし、私たちが最終的な勝利を知り、それが来ることをサタンに告げることは、私たちがサタンに対して善い戦いをするための一つの方法なのです。(ハバクク 2.14) のように、永遠の光の中で生きることは、私たちに内なる力を与えてくれます。:「**14** まことに、水が海をおおうように、地は、主の栄光を知ることによって満たされる。」。パウロは、ローマで最愛の友人たちに別れを告げるとき、その心と霊的生活の戦いを隠しませんでした。

パウロの愛と牧会の祈り、そして別れの挨拶に挟まれたアーメンを読み上げます。

(ローマ 16.20 - 24) : 「20 平和の神は、すみやかに、あなたがたの足でサタンを踏み砕いてくださいます。どうか、私たちの主イエスの恵みが、あなたがたとともにありますように。**21** 私の同労者テモテが、あなたがたによろしくと言っています。また私の同国人ルキオとヤソンとソシパテロがよろしくと言っています。**22** この手紙を筆記した私、テルテオも、主にあつてあなたがたにごあいさつ申し上げます。**23** 私と全教会との家主であるガイオも、あなたがたによろしくと言っています。市の収入役であるエラストと兄弟クワルトもよろしくと言っています。

24 [本節欠如・脚注より] 私たちの主イエス・キリストの恵みがあなたがたすべてと共にありますように。アーメン」

私がこの説教を締めくくると同じように、パウロも手紙を締めくくりに苦労したことでしょう！ 肉と血を持つ不完全な人間を通して、神の御言葉にある、このような栄光に満ちた御業をどのように締めくくればよいのでしょうか？ パウロがどのように感じたかは確かではないのですが、私はローマ書の 1 章から 16 章を繰り返して、次の言葉で閉じ

たいと思いますが、その代わりにメインテーマ今日の私のメッセージは、ローマ人へのパウロの祈りと宣言で締めくくりますが、OICの聖徒の皆さんに向けたものです。メッセージを締めくくるのに、このような祈りに勝るものはないと思います：だけを繰り返すことにします：. JUSTIFICATION (義認) とは、イエスの十字架上の死に基づいて、永遠の赦しを買うために、私たちはもはや罪がなく、義とされるという神の宣言である。

今日の私のメッセージは、ローマ人へのパウロの祈りと宣言で締めくくりますが、OICの聖徒の皆さんに向けたものです。メッセージを締めくくるのに、このような祈りに勝るものはないと思います：

祈りましょう！

「25 私の福音とイエス・キリストの宣教によって、すなわち、世々にわたって長い間隠されていたが、今や現わされて、永遠の神の命令に従い、預言者たちの書によって、信仰の従順に導くためにあらゆる国の人々に知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを堅く立たせることができる方、

26 [前節に合節] 27 知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、御栄えがとこしえまでありますように。アーメン。」

参考文献

AMPC - *Amplified Bible Classic*, Copyright © 1954, 1958, 1962, 1964, 1965, 1987 by The Lockman Foundation, La Habra, CA 90631. All rights reserved.

Beck - *The Holy Bible, An American Translation* by William F. Beck. Lake Publishing Company, Osage Beach, Missouri.

JBP - *The New Testament in Modern English* by J.B Phillips copyright © 1960, 1972 J. B. Phillips. Administered by The Archbishops' Council of the Church of England. Used by Permission.

KJ21- 21st Century King James Version (KJ21)

Copyright © 1994 by Deuel Enterprises, Inc.

KJSB - King James Study Bible/Notes, Thomas Nelson, 2017

NASB1995 - New American Standard Bible®, Copyright © 1960, 1971, 1977, 1995 by The Lockman Foundation. All rights reserved.